

## 7 国際交流

### 1 留学生の受入れ体制と状況

過去5年間の受入状況は次表のとおりであり、受入学生数に大きな変動はない。

区 分	平成10年度				平成11年度				平成12年度				平成13年度				平成14年度			
	国費	県費	私費	計	国費	県費	私費	計	国費	県費	私費	計	国費	県費	私費	計	国費	県費	私費	計
学部学生			7	7			5	5			4	4			3	3			4	4
大学院学生	11		29	40	12		25	37	9		29	38	8		22	30	6		23	29
研究生			2	2			1	1		1	1	2			2	2		1	1	2

#### 国別内訳

大韓民国																			1	1
台湾			5	5			2	2			2	2			2	2			2	2
中華人民共和国	4		32	36	4		29	33	3		31	34	5		23	28	4		22	26
タイ王国													1		1	1				1
フィリピン																				
ミャンマー														1	1				1	1
イラン	1			1	1			1												
スリランカ	1			1	1			1	1			1								
バングラデシュ	2			2	2			2	1		1	2	1		1	2	1		1	2
ベトナム	1			1	1			1	1			1	1		1					
アメリカ合衆国																			1	1
コロンビア	1			1	1			1	1			1								
チリ	1			1	1			1	1			1								
ブラジル										1		1							1	1
リトアニア			1	1	1			1	1			1								
計	11		38	49	12		31	43	9	1	34	44	8		27	35	6	1	28	35

### 2 留学生の教育・研究指導の方法と体制

#### (1) 留学生センター

岐阜大学には、日本語教育と留学生指導のために留学生センターが設置されており、大学生生活に必要な日本語能力を伸ばすことを目的とする日本語補講も柳戸キャンパスで4クラス実施されている。また、医学部の留学生に対しても司キャンパスで初級及び中級のクラスが設けられており、毎週A、B、Cの3つのクラスで非常勤講師による指導がなされている。

また、平成14年度からの新しいカリキュラムでは、生命倫理学を必修とするとともに、基礎科目、コア科目、学際科目、専門科目から講義、演習・実習を選択させ、幅広い知識と研究能力そして豊かな人間性を身に付ける大学院教育を行っている。

## (2) テューター

留学生の個別指導に関しては、チューター制が採られており、チューターによる留学生特別指導が入学後2年間(大学院学生は1年間)行われており、日本語、専門教育補充の両面から効果的に留学生を指導している。医学部、医学研究科における留学生の専門教育に関しては、基本的には日本人学生の場合と異なるところはなく、学部においては授業を通じて各教官による指導が、また大学院にあっては研究の指導を通してそれぞれ特定の指導教官の下での指導が中心になっている。

## 3 在学生の海外留学・研修の状況

医学部学生の海外留学については、医学部の特殊性もあって休学により留学することとなるが、積極的に富んだ学部学生による海外留学がみられる。

大学院学生については、2年以内に限り、外国における研究指導を在学期間に算入することが認められている。

## 4 教官の在外研究の状況

文部科学省在外研究員、日本学術振興会派遣研究者制度による長期、短期の海外での研究・指導、文部科学省科学研究費による海外学術調査研究の他に、教官の海外研修も盛んである。

在外研究員の状況(平成10年度～14年度)

氏名	主滞在国 派遣期間(月数) 派遣研究機関	調査研究題目	備考
中村 浩二	アメリカ合衆国 H10.6.1～H10.3.31 ミズーリーカンザスシティ大学	(10) レーザー・ラマン分光法による 血清タンパク質の高次構造と生 理機能に関する研究	甲種
吉見 直己	アメリカ合衆国 H10.10.1～H10.11.30 テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター	(2) 分子病理学レベルでの発癌機構 に関する研究	短期
奥富 直	フィンランド共和国 H11.3.1～H11.12.31 ヘルシンキ大学	(10) 口腔癌における顎再建と機能保 在について	甲種
林 知也	アメリカ合衆国 H11.3.1～H11.12.31 ペンシルバニア大学	(10) 血清アルブミンと一酸化窒素の 結合に関する研究	甲種
早川 大輔	ドイツ連邦共和国 H13.5.21～H14.3.20 ピュルツブルク大学	(10) ヒトの血管分布様式に関する研 究	甲種
西村 正子	アメリカ合衆国 H13.10.1～H13.11.30 シアトル・パシフィック大学	(2) 看護職者の生涯学習	短期

兼松 雅之	アメリカ合衆国 H14.6.1 ~ H15.3.31 ノースカロライナ大学	(10)	肝移植の MRI 診断に関する研究	甲種 一時帰国 H15.1.22 ~ H15.1.26
中村 浩幸	スウェーデン王国 H14.8.15 ~ H16.8.14 カロリンスカ研究所	(24)	電位感受性色素を用いた大脳皮質神経回路の研究	乙種

過去5年間の海外渡航状況

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
外国出張	60	58	64	61	84
海外研修	68	86	65	64	60
計	128	144	129	125	144

5 外国人研究者の招致の状況

国際社会の中で経済大国であり、しかも高度先進国として評価の高い我が国での研究や研究協力を希望する外国人研究者は非常に多く、医学部においても次のとおり関連領域の研究者が専門分野での希望する研究技術修得あるいは情報交換等を目的として来学している。

外国人研究者招致状況（平成13年度～平成14年度）

氏 名	国 籍（所属・職名）	目 的	期 間
ローザ アダニー	ハンガリー共和国 （デブレツェン大学医学部・教授）	共同研究	H13.4.8 ~ 4.13.
ラスツロ モーディス	ハンガリー共和国 （デブレツェン大学医学部・教授）	共同研究	H13.4.8 ~ 4.13
マルギット バラージュ	ハンガリー共和国 （デブレツェン大学医学部・助教授）	共同研究	H13.4.8 ~ 4.13
エヘマン ルディア	ドイツ連邦共和国	臨床医学の見学	H13.4.1 ~ 4.27
ジョン・J・ゾーン	アメリカ合衆国 ユタ大学皮膚科・教授	講演・意見交換	H13.4.8 ~ 4.10
ロビン・A.J. イーディ	英国 ロンドン大学医学部皮膚科・教授	講演・意見交換	H13.4.8 ~ 4.10
ライ マオデ	中華人民共和国 浙江大学・副学長	大腸がんの発生様式に関する研究	H13.5.20 ~ 5.22
チェン イエキシン	中華人民共和国 浙江大学・外事秘書	大腸がんの発生様式に関する研究	H13.5.20 ~ 5.22
ロナルド K. ロス	アメリカ合衆国 南カリフォルニア大学 教授	日系移民のガン疫学研究打合せ	H13.5.21 ~ 5.23

氏 名	国 籍 (所属・職名)	目 的	期 間
サンティ バブ	インド ビスバ・ババラッチ大学講師	抗線虫薬の研究のため	H13.5.16 ~ 5.30
エヘマン ルディア	ドイツ連邦共和国	臨床医学の見学	H13.5.1 ~ 5.30
J.R. アドラー	アメリカ合衆国 スタンフォード大学 教授	学術講演	H13.5.21 ~ 5.21
K.P. ガル	アメリカ合衆国 テキサス大学・教授	学術講演	H13.5.21 ~ 5.21
ドン A・バクスタイン	アメリカ合衆国 Dean Medical Center , Wisconsin USA・教授	「小児喘息と Q & L」講演 会で特別講演	H13.5.12 ~ 5.12
エヘマン ルディア	ドイツ連邦共和国	臨床医学の見学	H13.6.1 ~ 6.29
ジョン・ピー・コジック	アメリカ合衆国 John P.Kostuik 大学・教授	岐阜整形外科特別懇話会	H13.6.8 ~ 6.9
チュルハム エル チャン	大韓民国 釜山国立大学病院臨床検査 医学・講師	嫌気性菌の DNA マイクロ アレイ作製研究打合せのため	H13.6.15 ~ 6.15
リオネル ラル -	フランス共和国 キュリー研究所・主任研究 員	ES 細胞から色素細胞の分化 誘導の共同研究のため	H13.7.13 ~ 7.17
エヘマン ルディア	ドイツ連邦共和国	臨床医学の見学	H13.7.1 ~ 7.30
ガーリー .R. ストリカーツ	アメリカ合衆国 Brigham and Women's Hospital 教授	学会参加	H13.7.12 ~ 7.14
ウィリアム K シュミット	アメリカ合衆国 Vice president, Adolor Corporation 医師	学会参加	H13.7.12 ~ 7.14
P M ガイガー	ドイツ連邦共和国 Ulm Rehabilitation Hospital 医師	学会参加	H13.7.12 ~ 7.14
H. ケレット	デンマーク王国 Adolor Corporation 医師	学会参加	H13.7.12 ~ 7.14
トーマス ジー ロウ	アメリカ合衆国 コロラド大学医学部 クリニカル・教授	講演会	H13.9.11 ~ 9.11
ジョン イー シャーマン	アメリカ合衆国 ミネソタ大学・客員教授	教室見学	H13.9.12 ~ 9.12
ローザ アダニー	ハンガリー共和国 ブレッツェン大学医学部 教授	日・ハンガリー科学技術協 会会議の共同研究	H13.10.26 ~ 10.26
ピーアイジェイムエムワイ スマン	オランダ王国 Department of Orthopaedic Surgery, Professor And Chairman Vrije University 教授	学会へ講師として参加	H13.10.10 ~ 10.12

氏 名	国 籍 (所属・職名)	目 的	期 間
ハリーエム シャップル バーガー	アメリカ合衆国 Clinical Professor of Orthopaedic Surgery University of Miami School of medicine・教授	学会へ講師として参加	H13.10.10 ~ 10.12
アイエヌヤング オーケー	大韓民国 Department of Orthopaedic Surgery , Catholic University in South Korea・教授	学会へ講師として参加	H13.10.10 ~ 10.12
ポークワン チェン	台湾 National Taiwan University	台湾・日本整形外科セミ ナー講師	H13.11.17 ~ 11.17
ヨウ モ イ	中華人民共和国 中国医科大学・講師	岐阜大学交流協定大学との 研究者招聘のため	H14.1.25 ~ 1.31
ゲルトラウド マスカリ ネック	アメリカ合衆国 ハワイ大学がんセンター・ 助教授	乳がん疫学研究の打合せ	H14.2.22 ~ 2.22
アドルフ ミューラー	ドイツ連邦共和国 ルードウィッヒマクシミラ ン大学・医師	講演会	H14.2.5 ~ 2.6
ロナルド エル リンシャ イド	アメリカ合衆国 メイヨークリニック・医師	講演会	H14.2.5 ~ 2.7
ゲー ツオンピ	中華人民共和国 大連医科大学眼科・教授	視察等	H14.3.19 ~ 3.20
エイ ハリーレディ	アメリカ合衆国 カリフォルニア大学・教授	講演会	H14.4.9 ~ 4.9
アラン ティ ラスキン	アメリカ合衆国 Dean Medical Center, Director, Respiratory Institute	表敬訪問	H14.4.3 ~ 4.3
ウ ジュン	中華人民共和国 司法部司法鑑定科学技術研 究所司法鑑定部長	視察	H14.4.25 ~ 4.25
チョ シン イ	中華人民共和国 司法部司法鑑定科学技術研 究所首席鑑定人	視察	H14.4.25 ~ 4.25
リ リ	中華人民共和国 司法部司法鑑定科学技術研 究所法医物証学研究室副主 任	視察	H14.4.25 ~ 4.25
ウ ヘジアン	中華人民共和国 司法部司法鑑定科学技術研 究所法医物証学研究室副主 任	視察	H14.4.25 ~ 4.25
リ ユー	中華人民共和国 司法部法規教育司処長	視察	H14.4.25 ~ 4.25

氏名	国籍(所属・職名)	目的	期間
マルセロ クネーリッヒ ズッホ	ブラジル サンパウロ大学電子システム工学科 助教授	特別講演会及び視察	H14.4.14 ~ 4.16
ピア ネットラーチェン	タイ王国 チェンマイ大学 学部長	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
ユバ スミトサワン	タイ王国 チェンマイ大学 副学部長	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
アノン アンモントリ	タイ王国 チェンマイ大学 副学部長(医学部)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
ニミット モラコット	タイ王国 チェンマイ大学 副学部長(外国研究)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
ボングラック スリバン ディモンゴル	タイ王国 チェンマイ大学 学部長(学生課)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
マライ ムタラック	タイ王国 チェンマイ大学 アシスタント(大学院学生課)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
パニー シリパタネーパ	タイ王国 チェンマイ大学 アシスタント(医学部)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
ベンヤポロン チュウイン	タイ王国 チェンマイ大学 アシスタント(外務課)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
ロンナフォフ ウーフアン セイサイ	タイ王国 チェンマイ大学 アシスタント(学生課)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
マノフ コッヤムサイ	タイ王国 チェンマイ大学 アシスタント(学生課)	表敬訪問	H14.5.15 ~ 5.15
ロナルド ケー ロス	アメリカ合衆国 南カリフォルニア大学 医学部 教授	共同研究	H14.5.31 ~ 5.31
サンガク キム	大韓民国 KIST・教授 韓国分子設計 センター長	セミナー講演, 研究に対する 提言指導	H14.6.18 ~ 6.18
クーマー チャンドラセラ カン	アメリカ合衆国 Insite Vision 社 社長	研究	H14.7.23 ~ 7.23
ホーヨン グ チン キム	大韓民国 江原国立大学校薬学部薬学 科・教授及び学部長	講演及び当研究室見学のため	H14.7.24 ~ 7.24
ラタナバディ・ナナガラ	タイ王国 コウケン大学・助教授	医学生の実態を視察及び発表 のため	H14.7.8 ~ 7.14
ウィリアム エス スライ	アメリカ合衆国 St Louis Univ. Professor	講演 共同研究打合せ	H14.8.26 ~ 8.26
ツウ ミングホウ	中華人民共和国 江西省肺科医院・副院長	表敬訪問	H14.8.2 ~ 8.2
クウオグ ハンペング	中華人民共和国 江西省肺科医院・主任医師	表敬訪問	H14.8.2 ~ 8.2

氏名	国籍(所属・職名)	目的	期間
マイケル フォン リュー ディング ハウゼン	ドイツ連邦共和国 ヴイルツブルグ	講義	H14.9.25 ~ 9.26
シュチャット アリミット	タイ王国 コウケン大学 医学部長	岐阜大学医学部の教育シ テム視察と今後の交流につ いての協議	H14.9.3 ~ 9.4
チャチャイ パントングリ ヤクル	タイ王国 コウケン大学 副医学部長	岐阜大学医学部の教育シ テム視察と今後の交流につ いての協議	H14.9.3 ~ 9.4
プアンラット ヨングア ニット	タイ王国 コウケン大学 医学部生化学主任	岐阜大学医学部の教育シ テム視察と今後の交流につ いての協議	H14.9.3 ~ 9.4
ソピット ウォンハム	タイ王国 コウケン大学 医学部博士課程委員長	岐阜大学医学部の教育シ テム視察と今後の交流につ いての協議	H14.9.3 ~ 9.4
チャイシリ ウォンハム	タイ王国 コウケン大学 医学部倫博プログラム委員	岐阜大学医学部の教育シ テム視察と今後の交流につ いての協議	H14.9.3 ~ 9.4
ジーグレディマックブライド	アメリカ合衆国 オランダ整形外科セン ター・脊椎外科主任	表敬訪問	H14.9.13 ~ 9.13
ジョーン イー シャーマン	アメリカ合衆国 ミネソタ大学 客員講師	表敬訪問	H14.9.13 ~ 9.13
ハンセン エー ユアン	アメリカ合衆国 ニューヨーク州立大学 整形外科神経外科 教授	講演	H14.9.13 ~ 9.13
フランシス キリアン	ドイツ連邦共和国 ユブレイツ大学 脊椎外科・主任	第 5 回日本 PLIF 研究会で 講演	H14.10.18 ~ 10.18
ピーターポールバルガ	ハンガリー共和国 Semmelweis 大学 脊椎外科・機関長	第 5 回日本 PLIF 研究会で 講演	H14.10.18 ~ 10.19
クラエス オレルード	スウェーデン王国 ウプサラ大学病院 脊椎外科・教授	第 11 回日本脊椎インス トゥルメンテーション学会 で講演	H14.10.18 ~ 10.19
ユベール ラベル	カナダ モントリオール大学 外科学・教授	第 11 回日本脊椎インス トゥルメンテーション学会 で講演	H14.10.18 ~ 10.19
ジャンルック クレモン	フランス王国 Lenval 病院 整形外科 脊椎外科・第一主任	第 11 回日本脊椎インス トゥルメンテーション学会 で講演	H14.10.18 ~ 10.19
ローザ アダニー	ハンガリー王国 デブレツェン大学医学 部・教授	大学院特別講義及び共同研 究	H14.10.18 ~ 10.19

氏 名	国 籍 (所属・職名)	目 的	期 間
スジャ・ポシャイ	ハンガリー王国 デブレツェン大学 医学部・助手	大学院特別講義及び共同研究	H14.10.18 ~ 10.19
パオ シャンレン	中華人民共和国 北京大学物理学院・教授	講演・視察のため	H14.10.9 ~ 10.9
シェ ヨウチン	中華人民共和国 北京大学物理学院・助手	講演・視察のため	H14.10.9 ~ 10.9
チャン ゴヨウ	秋田県立大学・助教授	講演・視察のため	H14.10.9 ~ 10.9
ルドルフ イェーニッシュ	アメリカ合衆国 ホワイトヘッド研究所 マサチューセッツ工科大学・教授	セミナー	H14.11.21 ~ 11.22
リチャード アブリン	アメリカ合衆国 Inahapharm Inc. Director	学会の特別講演のため	H14.11.25 ~ 11.27
アーサ ロウ	アメリカ合衆国 ニューヨーク大学・教授	学会の特別講演のため	H14.11.25 ~ 11.27
ヘルムート パータラン フィー	ドイツ共和国 フィリップス大学病院 脳神経外科・教授	講演	H14.10.31 ~ 11.3
アレキサンドラ ブイ シ ウリア	ルーマニア バクダザールアルセ二病 院・脳神経外科・教授	講演	H14.10.31 ~ 11.3
ウィルサム ティー クッ ドウェル	アメリカ合衆国 ユタ大学・脳神経外科・教 授	講演	H14.10.31 ~ 11.3
ウヴェ スペッカー	ドイツ連邦共和国 フライブルグ大学・脳神経 外科・教授	講演	H14.10.31 ~ 11.3
ヤスヒロ ヨネカワ シミズ	スイス連邦 チューリッヒ大学・脳神経 外科・教授	講演	H14.10.31 ~ 11.3
エノン シュミット	ドイツ連邦共和国 ヴィルッパグ大学 皮膚科・医師	講演及び情報交換	H14.11.4 ~ 11.6
ツィー リュウ	アメリカ合衆国 北カロライナ大学 皮膚科・助教授	講演及び情報交換	H14.11.27 ~ 11.28
タン シ メイ	中華人民共和国	訪問	H14.11.1 ~ 11.30
ジェルトラウド マスカリ ネック	アメリカ合衆国 ハワイがんセンター 医師	日米がんセミナー出席のため	H14.11.6 ~ 11.8
チラサク カンブールング	タイ王国 チェンマイ大学・教授	表敬訪問	H14.11.1 ~ 11.2
タン シ メイ	中華人民共和国	訪問	H14.12.1 ~ 12.4
エン シュクケン	中華人民共和国 東華東院・医長	研修	H15.2.3 ~ 2.14



氏 名	国 籍（所属・職名）	目 的	期 間
グウ ゾーピン	中華人民共和国 大連医科大学・教授	視察	H15.2.4 ~ 2.4
リン ウェンツオン	中華人民共和国 大連医科大学・講師	視察	H15.2.4 ~ 2.4
ルアン リー	中華人民共和国 大連医科大学・看護師	視察	H15.2.4 ~ 2.4
ツァン キシツイ	中華人民共和国 大連医科大学・看護師	視察	H15.2.4 ~ 2.4

## 6 海外の大学との交流協定の締結状況と活動状況

本学部では 20 数年前から活躍してきた学外・海外協力委員会が国際交流の役割を担ってきたが、岐阜大学国際交流委員会の設置に伴い、その名称を医学部国際交流委員会とした。さらに平成 8 年度に留学生センターが設置されたことを受け、留学生交流専門委員会と学术交流専門委員会に医学部国際交流委員会から委員を送っている。

医学部が基幹となって推進した大学間交流協定校としては中華人民共和国の浙江医科大学と中国医科大学等があり、留学生の受入れ、研究者の交流、情報交換、共同研究が行われている。外国からの留学による大学院修了者の中には学位取得後、本学部の教員として教育・研究に活躍している人もいる。

### (1) 交流協定（部局間協定）

現在、医学部が交流協定を結んでいるのは次の 2 大学である。

大学学部等名	国 名	協定締結日
浙江 大学 医学院	中華人民共和国	平成 12 年 12 月 4 日
コウケン大学医学部	タイ 王 国	平成 12 年 12 月 18 日

### (2) 交流活動（全学レベルでの大学間交流協定校も含む。）

2000 年 10 月浙江医科大学（元浙江医科大学）院長，外事秘書が来訪し，学术交流に関する意見交換を行った。

2001 年 5 月浙江医科大学（元浙江医科大学）副学長，外事秘書が来訪し，今後の国際交流について意見交換を行った。

2002 年 5 月チェンマイ大学医学部長が来訪し，医学教育の情報交換及び視察を行った。

2002 年 9 月コウケン大学医学部長，医学部長補佐，生化学主任が来訪し，医学教育について視察し，意見交換を行った。